



2022年度（2023年3月期）

第3四半期決算 補足説明資料

2023年2月9日

ぴあ株式会社

東京証券取引所プライム市場

証券コード：4337

[1]2022年度第3四半期 決算について

- 1)決算のポイント
- 2)通期業績の想定

[2]主な取り組み



1) 決算のポイント

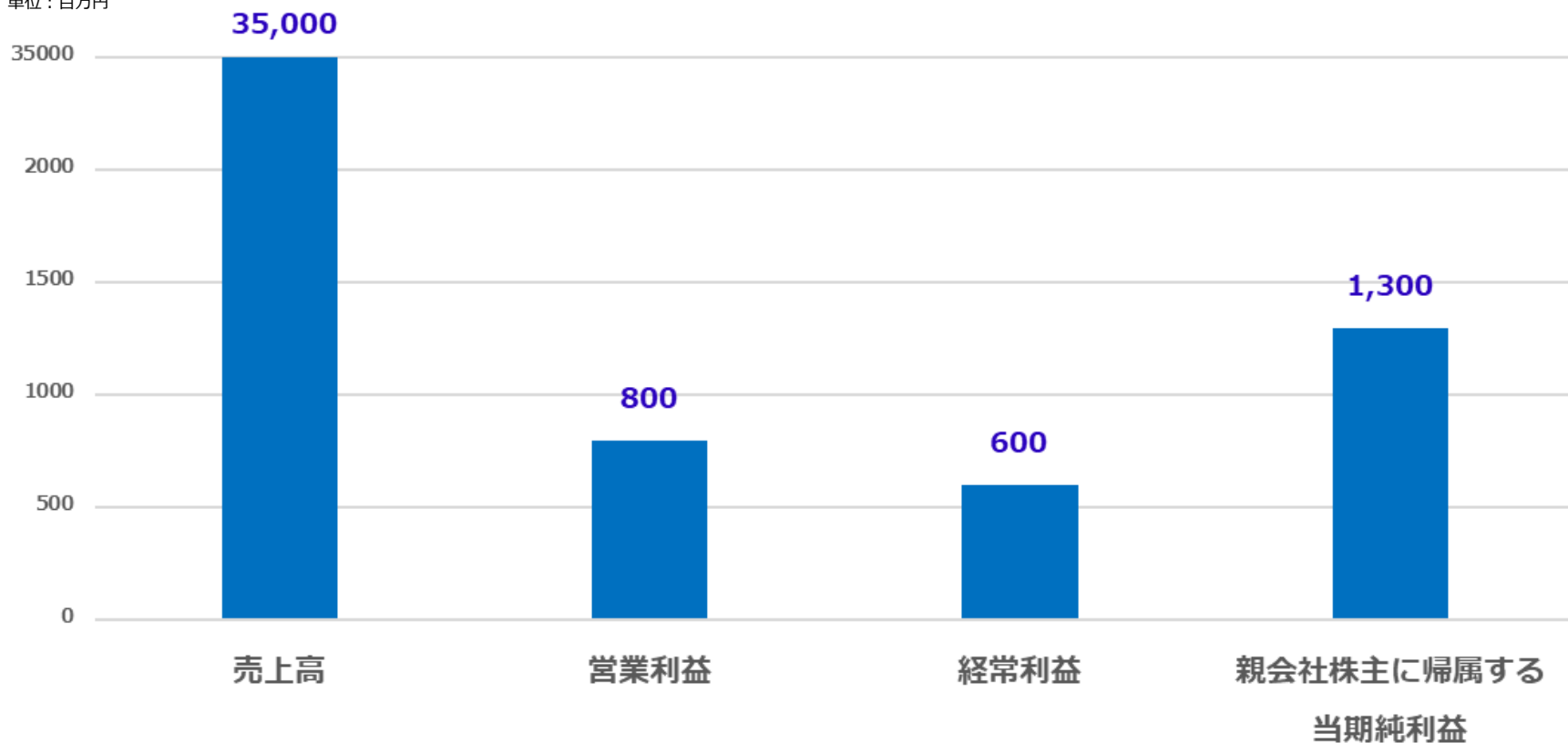
- ◆集客エンタテインメント市場は、集客制限の緩和に伴い、音楽公演の全国ツアーや大規模フェス、プロスポーツの国際大会等の大型案件が続々と開催され、回復基調に転じています。
- ◆市場の回復に加え、獲得案件数が増加したこと、また感染対策の費用、電気代や資材の高騰によりチケットの単価が上昇したこと等も要因となり、第2四半期に続きチケット販売は好調に推移し、売上も伸張しました。
- ◆一方、創業50周年を記念して、ぴあアリーナMMで開催した「感謝イベント」や、全国各地で行われたスポーツ、音楽、演劇などの様々なジャンルの主催イベントの開催費用等を計上したこともあり、利益ベースでは第3四半期単独としては僅かな伸長となりました。

2) 通期業績の想定

◆通期では、前回(昨年11月)に公表した見込み通りに推移しており、
通期の業績予想に変更はありません。

2023年3月期通期業績予想(変更なし)

単位：百万円



～創業50周年プロジェクトを展開～



◆創業50周年感謝イベントをぴあアリーナMMで開催（2022年11月17日）

株主様とのお連れ様約4,000名をはじめ、ぴあカード会員様、ぴあアプリユーザー様、お取引先様、従業員とその家族など、約8,000名を無料にてご招待しました。



矢内よりご挨拶



布袋寅泰さん



小六禮次郎さん、倍賞千恵子さん



川淵三郎さん

◆創業50周年記念ムービーを公開

ぴあの50年の歩みを、時代とともに振り返る記録映像をぜひご覧ください。



<http://w.pia.jp/t/pia50th-movie-all/>



◆ぴあ社長・矢内廣 自伝『岩は、動く。』発行

自身の生き立ち、情報誌『ぴあ』の創刊、「チケットぴあ」のスタート、幾度と経験した経営危機や発明のエピソードなどが綴られています。



～既存事業と新規事業を両輪で推進～



◆スイス・DAIMANI 社への出資・業務提携により、ホスピタリティ事業に参入

VIP向けホスピタリティ事業を展開するDAIMANI社(スイス)と出資及び業務提携を行い、ホスピタリティ事業に本格的に参入。新たな収益の柱を構築するとともに、海外事業領域の拡大を進めてまいります。

●ホスピタリティ事業とは・・・

スポーツ、コンサートなどに際し、VIPルーム等の利用ができるチケットに、クオリティの高い飲食やギフト、サービスの提供を組み合わせた商品の企画・販売・運営を行います。欧米ではすでに広く普及しており、日本でもラグビーW杯2019などにおいて実施され、富裕層のエンタメファンや取引先の接待等に使用する法人利用が増えており、今後の市場拡大が見込まれています。

※詳細は、昨年12月15日公表のプレスリリースを参照ください。



◆メディアコンテンツ事業が好調

『ジェyson流お金の増やし方』
年間書籍ランキングで3冠達成
(オリコン、TSUTAYA、楽天ブックス)



60万部
(電子書籍含む)

『羽生結弦語録』 6刷、
『羽生結弦語録II』 重版を実施



◆「PFF」から世界へ

第26回PFFスカラシップ作品である、清原惟監督の「すべての夜を思いだす」が、第73回ベルリン映画祭のフォーラム部門に正式出品が決定。初長編に続き、2作品連続で選出の快挙。



◆ 「チームスマイル」活動を終了。締めくくりの「感謝の会」を実施

2011年の震災直後より復興支援活動を続けてきた「チームスマイル」は、2022年内をもって活動を終了いたしました。支えていただいた皆様に11年間の感謝をお伝えするため、「“わたしの夢”応援プロジェクト」にて、サポートいただいたアーティストの方々をゲストに招き、感謝の会を実施しました。



「いわきPIT」の会では、倍賞千恵子さん、小六禮次郎さんによるミニコンサートを開催しました(10月)



いわきPIT
(地元民間企業にて継承)



釜石PIT
(釜石市にて継承)



釜石では布袋寅泰さんのライブを開催し、地元の皆様にもお楽しみいただきました(11月)
(撮影：西条佳泰 Grafica Inc.)

4つのPITは、そのままの名称で今後も継承され、「豊洲PIT」と「仙台PIT」は当社所有のホールとして今後も運営してまいります。



豊洲PIT(当社にて継承)



仙台PIT(当社にて継承)